



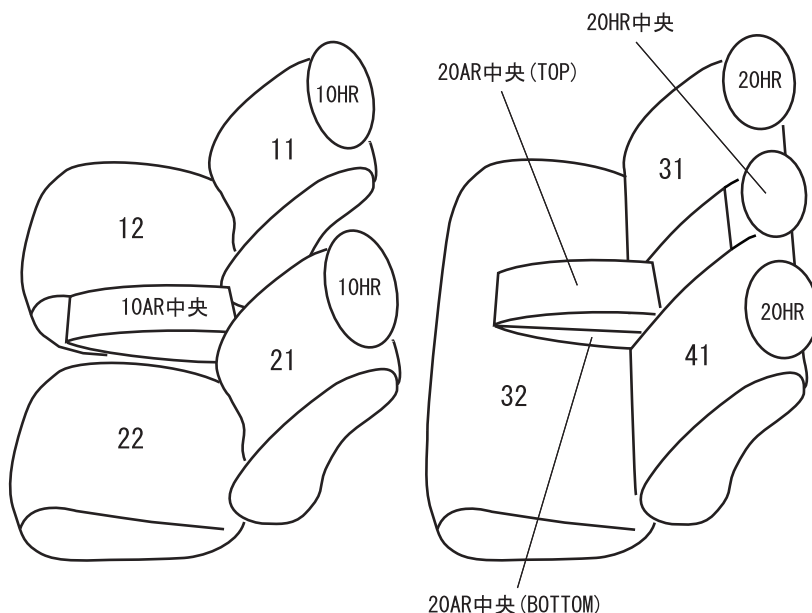
レクサス LS460

専用シートカバー取付説明書

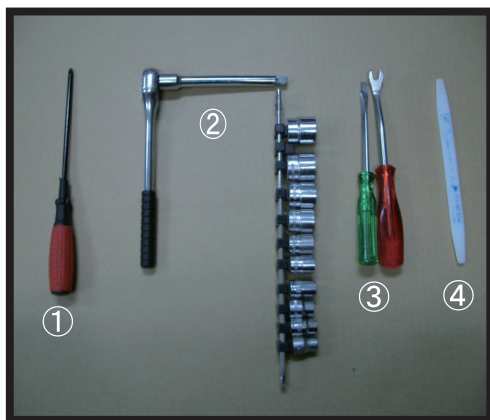
この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

*この車種では、①、②、④の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



サイドエアバッグ展開部分

シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目

3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

1 列目座面



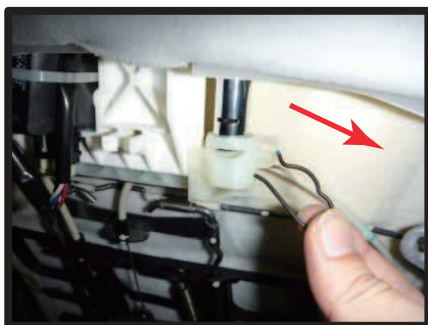
①最初に背もたれバックボードを外します。背面下から座面裏に繋がっている生地を外します。



④バックボードを外した状態です。配線等に注意して作業を行ってください。



②バックボード下のネジを外します。(左右2箇所)



⑤次にヘッドレストを外します。ヘッドレストの軸がピンで固定されています。外側に引き抜くとヘッドレストが外れます。(左右2箇所)



③バックボードは下側を開いた後、全体を下にずらして外します。



⑥ヘッドレストを外した状態です。ヘッドレストは背もたれカバー取り付け時に戻します。



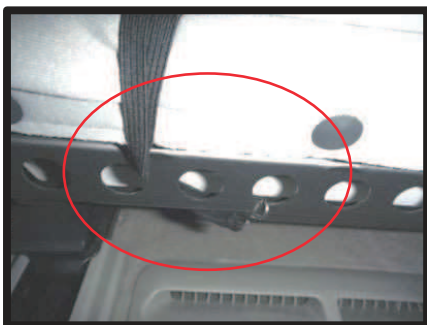
⑦座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



⑩引き出した生地についているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑧背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



⑪ゴムを座面下側の穴に通してS字フックで固定します。



⑨入れ込んだ生地を背面から引き出します。



⑫シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。

1 列目座面続き



⑬シート前側も同様に生地を入れ込みます。



⑭カバー内側に付いているゴムはS字フックでシート本体下側の金属部分に固定します。



⑮カバーのラインを整えます。1 列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



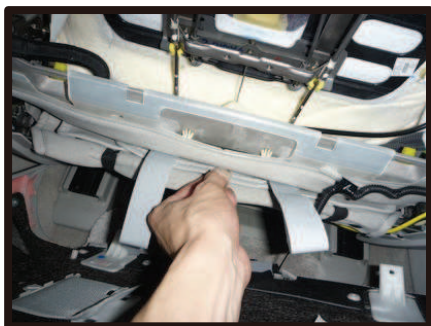
①ヘッドレストの穴位置に合わせてカバーをかぶせます。



②ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



③背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



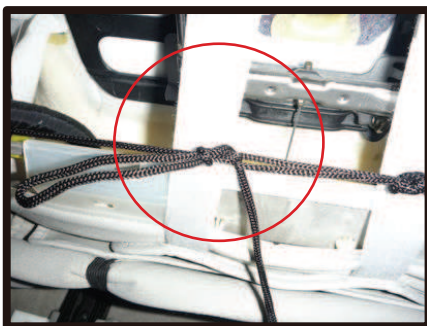
④ 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



⑤ 引き出した生地に付いているマジックテープを金属部分に巻きつけて固定します。



⑥ カバー両端に付いているヒモを後ろ側で固定します。
片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通して絞り込み固定します。



⑦ 固定した状態です。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑤⑥⑦の固定が正確にできないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

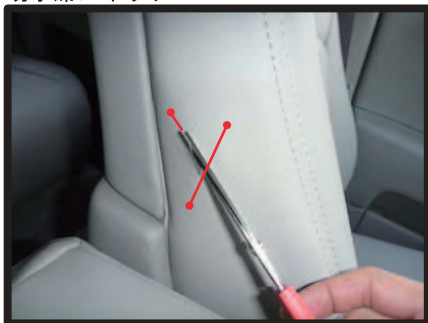


⑧ サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えます。
ヘッドレストバックボードを元に戻して、1列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

※バックボードを戻す前にヘッドレストにカバーを取り付け、外した時と逆の手順で固定して下さい。

1 列目背もたれ

助手席スイッチ



⑨助手席スイッチ部分を加工します。プラスチックパーツよりも内側に印を付け、生地を切ります。この時、シート本体を傷つけないよう、ご注意ください。

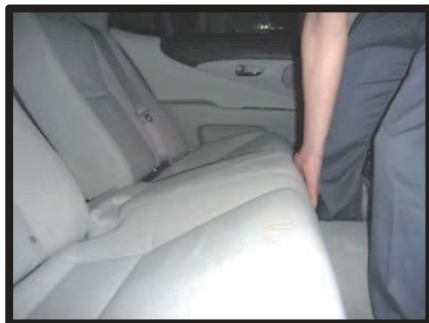


⑩プラスチックパーツに生地を入れ込みます。

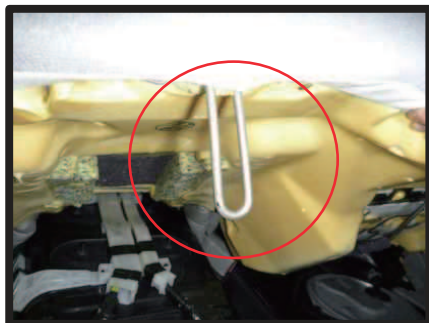


⑪スイッチ部分の完成です。
(助手席のみ)

2 列目座面



①座面の前側を持ち上げるように引き上げて取り外します。シートを外す時に車体を傷つけないよう慎重に作業をして下さい。



②車体とシートを固定しているフックです。(シート側に3箇所)



③車体とシートを固定している台座です。(車体側に3箇所)



④座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



⑦カバーのラインを整えます。
2列目座面の完成です。
背もたれ取り付け後に座面を車体に戻します。



⑤カバーの加工穴から5ページ②の固定フック部分を取り出します。

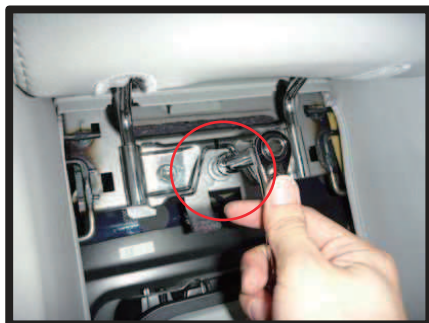


⑥カバーに付いているヒモを後ろ側で固定します。
カバー前後に付いているゴムはゴム同士をS字フックで固定します。

2列目背もたれ



① 2列目背もたれを外します。下側にあるボルトを、ラチェット等を使用し取り外します。



④ 中にあるナットをラチェット等を使用し取り外します。



② ボルトの位置は赤○(4箇所)です。



⑤ 背もたれを上側に持ち上げて外します。シートを外す時に車体を傷つけないよう慎重に作業をして下さい。



③ アームレスト裏にあるプラスチックカバーを引き出して外します。



⑥ 肩口にあるシートベルト台座をドライバーで外します。(左右2箇所)



- ⑦アームレストを外します。
裏のナットをラチェット等で取り外
します。



- ⑩肩口を包み込むようにカバーをかぶ
せます。



- ⑧カバーをシートラインに合わせて
かぶせます。



- ⑪カバー上側に付いているゴムは金属
部分に引っかけます。

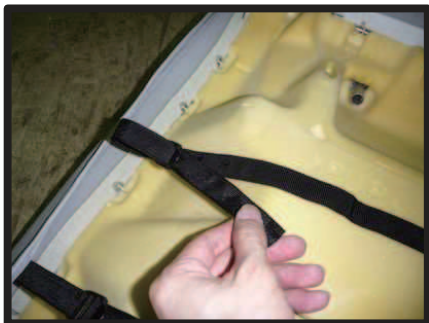


- ⑨カバーの加工穴から金属部分を取り
出します。

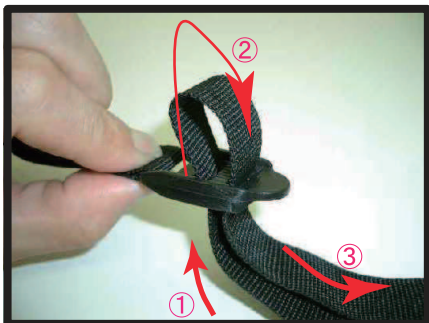


- ⑫ヘッドレストの台座を1列目と同様
に取り出します。

2列目背もたれ続き



⑬左右のベルトを固定します。



⑭ベルトは図のように真中の穴に通して、右端の穴に通します。ベルトを引いて固定します。強く引き過ぎるとベルトが切れる恐れがありますのでご注意ください。



⑮カバーのラインを整えます。2列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。車体に戻すのは、アームレスト取り付け後に行います。

1列目アームレスト



①アームレストを開いて、カバーを前側からかぶせます。



②後ろ側まで包み込みます。



③カバーのラインを整えます。1列目アームレストの完成です。※生地が厚みがありますので、アームレストを閉じる際、後ろ側から押して固定して下さい。

2 列目アームレスト



①アームレストのヒンジを外します。
ネジをドライバーで外します。



④後ろ側まで包み込みます。



②反対側はヒンジを浮かせると外れます。



⑤上フタを開いて、中にあるネジをドライバーで外します。

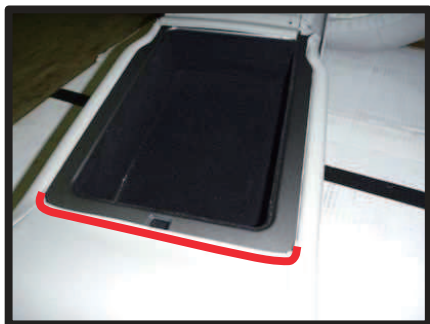


③カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。

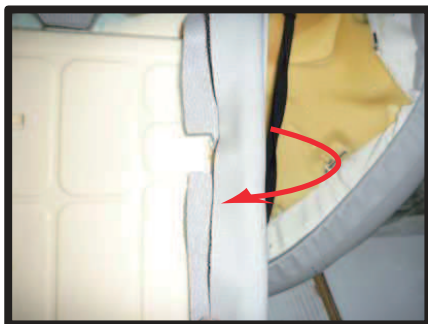


⑥側面の生地をプラスチックの隙間に入れ込みます。

2 列目アームレスト続き



⑦前側の生地は入れ込みません。
(赤線部分)



⑩側面の生地を裏側まで巻き込み両面テープ等で固定します。



⑨上フタのプラスチックパーツを外します。
ネジをドライバーで外します。ツメで固定されているので、ヘラ等で外します。(各4箇所)



⑪前側の生地も内側まで巻き込み固定します。



⑧カバー取り付けにはアームレストに両面テープ等を付けて作業すると、より強固に固定できます。



⑫生地にシワが入りますので、少し切り目を入れます。
切り過ぎないようにご注意ください。

1 列目ヘッドレスト



⑬裏フタを元に戻します。



①前側からカバーをかぶせます。



⑭ヒンジ側に付いている生地は純正生地の上に重ねて置きます。
※固定はしません。



②ヘッドレストの分割部分に生地を入れ込みます。



⑮カバーのラインを整えます。2 列目アームレストの完成です。
背もたれに戻します。

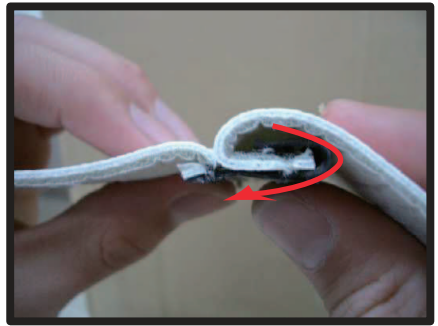


③シートに戻して、1 列目ヘッドレストの完成です。
固定用のピンを取り付け、バックボードを戻します。

2 列目ヘッドレスト



- ①前側からカバーをかぶせます。
縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



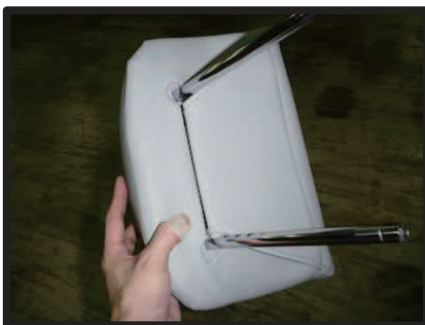
- ④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意下さい。(写真断面図)



- ②少しずつカバーをずらしながらかぶせます。
前側をしっかりと入れ込み、後ろ側まで、かぶせます。



- ⑤中央のヘッドレストにカバーをかぶせます。



- ③カバーはブラフックで固定します。
(固定方法は④を参照)



- ⑥ブラフックで固定します。

完成写真



⑦サイドのボタンを生地の加工穴から取り出します。



1列目



⑧ヘッドレストを背もたれに戻して2列目ヘッドレストの完成です。ヘッドレストとアームレストを背もたれに戻した後、車体に取り付けます。背もたれを元に戻した後、座面を取り付けます。



2列目



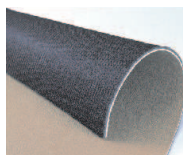


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

